

廿日市天満宮で奉納演武

澁川一流柔術

澁川一流柔術は昨年12月23日、広島県廿日市市スポーツセンター・武道場において同年最後の稽古を行い、その後、廿日市天満宮に移動し、奉納演武を実施しました。



廿日市天満宮で子どもたちを交えて

去年は対外行事として京都下鴨神社奉納演武会、京都白峯神宮奉納演武会、明治神宮奉納日本古武道演武大会、第19回日本古武道術技向上演武大会に参加し、主催行事として速谷神社奉納演武会、劇団夢現舎講習会、昇級審査会を実施するなど澁川一流にとって充実した年でした。

また、3月には代表の森本先生が徳島県剣道連盟剣道史編纂委員・坂本裕二先生の依頼により広島藩から徳島藩に伝わった貫心流・難波一甫流の歴史について徳島県で講演を行いました。

武道場での稽古後、森本先生より演武における心構えとして、「神様に日ごろの稽古の成果を見ていただくように、他の人の演武をしつかりと見て、良いところは自分のものにするように」とお話がありました。

演武に先立ち、廿日市天満宮の林宮司による祝詞奏上に続き、道場の

顧問・岡田先生より「一つの事を続けてゆくことは大変難しいことです。が、何事も続けてゆき、積み重ねてゆけば何かが見えてきます。私は、『凡事の徹底』を座右の銘として長年稽古を続けてきました。積み重ねることによって、必ず自分を高めてくれます。これからも頑張つて稽古を続けましょう。本日は、いつもどおりの素直な心で演武をするように心がけてください」とのお言葉をいただきました。

演武は森本先生と丸田師範代理による無雙神傳英信流抜刀兵法の詰合・大小詰が始まり、続いて岡田先生の居合、竹本師範代と竹本治恵の柔術の順で行われました。門人たちは、各先生の演武を見て、各々何かを感じ、見て取ることができたことと思います。

子供たちの演武では、特に、入門して間もない子供たちの演武がよかったですと思います。雨の降る寒い中でしたが、元気で大きな声が出ていて素直な動きでいつもの稽古以上の演武ができていたようです。子供たちの素直さは、大人たちも大いに見習うところがあると感じました。大人

の方々も日ごろの稽古の成果がでて、大変よい演武内容だったと思います。門人全員の演武が終了後、森本先生の柔術の演武で廿日市天満宮奉納演武を無事終了しました。

演武終了後、今日の演武について、森本先生より次のようなお言葉がありました。「今日はよい演武でした。小さい子供たちは素直でよい演武でした。これは大人の方も見習うべきところがあると思います。次に年長者は自分の至らないところをなくすよう稽古するように。大人の方は、日本武道館の演武会に参加する方々をよく見習いましょう。また、居合の方はそれぞれにある癖をなくすよう稽古してください」。また、岡田先生からは、「今日はよい演武を見せていただきました。素直でよい演武でした」とお褒めの言葉をいただきました。

昨年1年を振り返ると、私にはまだ多くの至らないところや、動きに無理無駄なところがたくさんあります。少しでも向上できるように、一日一日を大切に稽古しなければならぬと思っています。